



高性能材料技術・事業化研究所（高材研、代表理事）は3日、同研究所を一般社団法人として設立したとともに、企業の研究開発で生まれた新素材の事業化を支援するサービスを始めると

## 新素材の事業化加速

### 高材研を設立 企業支援来月開始

東京都港区、滝田理康（Satoshi Taki）が代表理事（写真）は「日本の素材は世界で強い。確立したメゾンドで事業化を加速し、『若葉』を増やしたい」と抱負を語った。

高性能材料技術・事業化研究所（高材研、代表理事）は3日、同研究所を一般社団法人として設立したとともに、企業の研究開発で生まれた新素材の事業化を支援するサービスを始めると

発表した。ブリヂストンで炭化ケイ素（SiC）事業に携わっている滝田代表理事（写真）は「日本の素材は

規参入が難しい。高材研は既存企業における新規事業を育成することにより、業界全体の活性化を目指す。

11月には、新素材の事業化支援サービスを開始。技術・市場調査書の制作・販売や企業内新規事業の育成を目的とする助言・指導、月2回のシンポジウムなどを展開する。利用料は個別見積りで対応する。

滝田は「日本の素材は、企業の研究開発で生まれた新素材の事業化を支援するサービスを始めると

併せて、法人・個人会員を募る。法人会員の年会費は10万円。サービスとして研究開発と事業化、販売、市

場調査、広報などで豊富な経験を持つ9人が参画しており、うち5人はブリヂストン出身者が占めている。

11月には、新素材の事業化支援サービスを開始。技術・市場調査書の制作・販売や企業内新規事業の育成を目的とする助言・指導、月2回のシンポジウムなどを展開する。利用料は個別見積りで対応する。